

## 日本とEUとの間の教育・学術・科学技術交流について

2014年10月21日

駐クロアチア日本国特命全権大使 井出敬二

(以下はリエカ大学主催の国際学術シンポジウム「欧州の学際的研究：変化する世界での欧州にとっての(新しい)挑戦—知識はより良い欧州の道具」(10月20日, 21日リエカ大学において開催)において, パネリストの一人として英語で行った発言の概要を日本語訳したもの。)

本日はお招きいただきありがとうございます。

リエカ大学でお話しできることを大変光栄に存じます。

このパネルの司会のフルボエ・マルシッチ・クロアチア外務・欧州問題省次官補(欧州担当)からは日本とEUとの間の教育・学術交流について話してほしいと言われておりますので, そのテーマでお話しします。

### はじめに

日本とヨーロッパの関係, またヨーロッパの統合の歴史を語る上で, 非常に興味深い人物であるリヒャルト・クーデンホーフ＝カレルギー(1894年～1972年)についてまずお話ししたいと思います。彼の父はオーストリア＝ハンガリー帝国の大使として日本に駐在し, 日本人女性と結婚し, リヒャルトが産まれました。リヒャルトは青山栄次郎という日本名も持っていました。リヒャルトはヨーロッパのこともアジアのこともよく知っており, そのような幅広い視野があったからこそ, ヨーロッパの将来として汎ヨーロッパ主義を提唱し, それが後の欧州統合につながったのだと思います。昨日と本日の議論を聞いていまして私が強く感じたのは, 欧州統合を議論する際には, そのような世界的な幅広い視野からの議論が欠かせないということです。

### 日本とクロアチアの間での教育・学術交流

クロアチアはEUに2013年7月に加盟しましたが, それ以前から日本とクロアチアの間では様々な教育・学術交流が発展してきました。旧ユーゴスラビア時代からも含めてクロアチアからは少なくとも47名が日本の文部科学省の留学制度を使って日本に留学しています。その中には, 私の友人でもあるリエカ大学のズラタン・ツァル副学長もいらっしゃいます。また日本とクロアチアの間では科学技術協力も進められており, 地滑り・洪水対策研究ではネヴェンカ・オジャニッチ・リエカ大学副学長が大変積極的に参加されています。日本がリエカ大学とこのような協力関係を構築してきたことは大変うれしいことです。また上述以外にも地雷除去, 材料科学の分野での共同研究が行われました。

日本とクロアチアとの間には、私が承知している限りでは次の10本の大学間の協力協定も結ばれています。

ザグレブ大学：東京大学，北海道大学，中央大学，武蔵野大学

ザグレブ経済マネジメント大学：名古屋商科大学，立命館アジア太平洋大学，明治学院大学

リエカ大学：兵庫医科大学

スプリット大学：関西学院大学，新潟大学

### 日本・EU関係

クロアチアがEUに加盟したことから、今後の日本・クロアチア協力は日本・EU協力の枠組の中でも発展させていくことが重要です。そこで今日の日本・EU関係を説明したいと思います。

本年5月に安倍総理はブラッセルを訪問し、日本・EU首脳会議を開催しました。そして共同プレス発表が出されました。その中ではまず日本とEUが共通の価値観を共有すること（パラグラフ1）、現在戦略パートナーシップ協定（SPA）と自由貿易協定（EPA）／経済パートナーシップ協定（EPA）を交渉しており、その重要性に対する共通の認識（パラグラフ2および3）、ITERなどでの協力の強化の意向（パラグラフ7）が書かれています。さらにパラグラフ7では、人と人との交流の重要性、エラスムス・プラスや二重学位制度、研究者などのモビリティの強化、マリー・スクロドウスカ・キュリー・アクション、日本におけるEUインスティテュート（EUIJ）などの様々な協力について言及がされています。これらについて若干説明したいと思います。

まず日本においては現在4つのEUインスティテュートが設立されています。すなわち東京（2004年）、関西（2005年）、早稲田（2009年）、九州（2011年）です。これらは日本とEUとの学術交流を活発化させるために積極的に活動しています。

日本とEUとの間の学生交流について説明します。

#### ●日本から世界への留学生の人数（2011年）：57501名

内、欧州への留学生：9635名

内、EU諸国への留学生：9215名（内訳：英国3765名，ドイツ1867名，フランス1685名，オーストリア348名）

#### ●世界から日本への留学生の人数（2013年）：135519名

内、欧州からの留学生：4753名

内、EU諸国からの留学生：3583名（内訳：フランス793名，ドイツ599名，英国452名，スウェーデン254名）

●日本とEU諸国の大学間の協力協定の数（2011年）：3958

内訳：日本・英国	880
日本・フランス	749
日本・ドイツ	710
日本・イタリア	245

●日本の大学がEU域内に設置した拠点の数：32

内訳：英国9，フランス8，ドイツ5，オランダ3，イタリア・ベルギー各2，オーストリア・デンマーク・フィンランド各1

日本とEUとの間では新しい学生交流のプログラムが作られており，それには日本政府とEUが資金的な支援をしています。

一つ目は2013年から始まった二重学位プロジェクト(Double Degree Project)です。10か月以上の期間を，それぞれから20名の学生が留学するもので，4年間継続することになっています。

二つ目は2014年から始まったモビリティ・プロジェクト(Mobility Project)です。1か月から5か月の間，20名が交流するもので，3年間継続することになっています。

EU側からは日本，豪州，韓国向けに220万ユーロの予算措置が，日本政府からは年間13万ユーロの予算措置が講じられることになっています。

次に日本とEUの研究機関が参加する様々な分野での協力プロジェクトを紹介します。それは宇宙(日本・EU間政策対話，国際宇宙ステーション(ISS)，ALMAプロジェクト(天文台協力))，海洋(国際深海科学掘削計画(IODP))，高度海洋監視システム(ARGO計画))，気候変動(1999年以来日本・EUワークショップを6回開催，全球地球観測システム(GEOSS))，ベルモント・フォーラム(地球環境変動研究))，核融合(ITER(国際熱核融合実験炉))，幅広いアプローチ(BA)活動に関する協力)などがあります。

研究者の交流としては，日本とEUとの間では2012年の一年だけをとっても，次の交流が行われています。

●EUから日本へ：7939名(その内，1か月以上の滞在は2797名)

内訳：英国から日本へ	1822名
ドイツから日本へ	1662名
フランスから日本へ	1611名
イタリアから日本へ	531名

●日本からEUへ：46739名(その内，1か月以上の滞在は1929名)

内訳：日本からドイツへ	9069名
日本からフランスへ	7862名

日本から英国へ 6831名

日本からイタリアへ 4754名

2014年にはヴルカヌス・プログラムで、3名のクロアチア人学生が日本企業でインターンシップを行うために訪日しました。

以上のような留学生・研究者交流を支援する日本側組織としては、日本の外務省、文部科学省、JST（日本科学技術振興機構）、JSPS（日本学術振興会）、国際交流基金などがあります。

日本とEUとの間の科学技術協力を推進する枠組としては日本・EU科学技術協定があり、同協定は2009年11月に署名され、2011年3月に発効しました。そして同協定に基づいて合同委員会が2011年6月と2013年6月に開催されています。同会合では、双方の科学技術政策における最近の進展や、過去の共同公募などの日本・EU科学技術協力の成果についての発表が行われました。主な成果としては、共同プロジェクト（①太陽光発電分野、②航空分野、③超伝導分野、④希少元素代替材料）の進展が確認されたこと、ナショナル・コンタクト・ポイントを指名する（日本側は日欧産業協力センター（一般財団法人日本貿易研修センターの一部）を2013年11月に指名した）などの体制整備が進められていることが挙げられます。日欧産業協力センターは、日本からホライズン2020に参加しようとする者に対する情報提供を行うこととなります。

日本とEUとの間の科学技術分野の協力は、産業分野の協力と連携して行っていく必要があります。原子力分野、自動車製造分野、ロボット分野、鉄道分野などで、様々な協力が進められています。日本企業は最近では航空機製造分野でも積極的に事業展開していますので、この分野も将来の協力の発展が期待されます。

日本・EU間では、その他にもサイバー政策での対話が行われています。

## 結論

日本と欧州諸国は共通の課題に対して、ともに協力していくべき関係にあります。他方、それぞれが科学技術開発面で持つアイデア、概念、アプローチは、相互補完性もあると思います。

本日は時間の関係で安全保障分野の協力については話ができませんでしたが、日本は「積極的平和主義」を推進しており、ソマリア沖海賊対策活動などでEUとの協力を進めています。NATOとの間でも海賊対策での海軍・海上自衛隊艦船の間で合同訓練がアデン湾で行われましたが、これは最初のものでした。地政学的観点からも日本とEUは協力すべきと考えます。

以上のような枠組の中で日本とクロアチアとの関係が更に発展することを希望しており、そのために尽力する所存です。

ご静聴ありがとうございました。

(了)